

はつかいち福祉ねっと通信

No.30

発行 はつかいち福祉ねっと事務局(廿日市市障がい福祉相談センターきらりあ)
 連絡先 TEL(0829)20-0224/FAX(0829)20-0225/E-mail fukushi-soudancenter@h-kiraria.net

「ねっと通信」の個人宛メール配信希望者、募集中!

はつかいち福祉ねっと活動報告

第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画の推進について

今年度は、昨年度廿日市市で策定された”第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画（以下「障がい者計画等」という。）”の見直し作業（PDCA）について、はつかいち福祉ねっと（以下「福祉ねっと」という。）の各部会で検討を重ねてきました。（昨年度までは、障がい者計画等の進捗状況確認については、障がい福祉委員会で行っていましたが、今年度からは、福祉ねっとを活用し、見直していくこととなりました。）



進め方としては、年7回の部会代表者会議

の内2回は、拡大版部会代表者会議として位置づけ、障がい別会議のみなさんにも合流いただき、計画推進に特化したテーマで意見交換等を行うというスタイルを取りました。

まず、9月24日に行った部会代表者会議（拡大版）では、障がい者計画等と福祉ねっとで蓄積してきた「”生活のしづらさや不便さ”などの課題とそれに対する取り組み状況一覧」とを合わせながら整理していくことについて確認しました。

これを受けて、各障がい別会議では、9月から11月の3か月をかけて、これまで福祉ねっとで取り組んできたことや、これから新たに取り組んでいきたいこと、障がい者計画等の作成時に各障がい別会議から出された意見等を作業所シート記入しながら確認をしていきました。

第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画の推進

PDCAサイクル

障がい者福祉計画

ねっとで抽出してきた地域課題

Plan 計画

Do 取組状況の確認

Check 課題の抽出

Act 今後の取組検討

大項目	中項目	小項目	項目	担当課	実績
療育・保育・教育	療育を受けるために	地	障がいの原因となる疾病や発	障	”広島西こども発達支援センター-くれよん”巡回や、医療機関・保育園、学校から障がいの発達の弱さ
		推	進体制の充実	課	との協力により、必要な療育の確保に努めるとともに県の巡回判定会の実施に協力します。
はつかいち福祉ねっとでの取組の状況					
取組継続中	I 取組の評価	II. Iの評価について(具体的に)	III.他に関連する取組や新たな取組、方向性があれば具体的に	担当部会	抽出部会
			これまで部会で取り組んできたことを記載	今後、検討している新たな取組などを記載	発達支援部会

短期間での作業は、とても大変でしたが、みなさんには熱心に話し合っただき、各種情報を共有し、議論することの大切さを再確認することができました。

そして、12月10日の部会代表者会議（拡大版）では、各部会で整理した「これまで取り組んできたこと」「これから取り組みたいこと」の共有と、「作業を通して気づいた課題」等について事務局から報告しました。

フロアからは、「より一層横のつながりを深めていきたい。」「今日は“コツコツと活動を継続することで、一般の人たちとの壁を取り除くことができるのでは”という希望を感じた。」「昨年度みんなで考えた基本目標“ひとりひとりが 笑顔で暮らせるまち はつかいち”を実現するためには、障害者権利条約の理念実現に向けて取り組んでいく必要がある。一人ひとりの力は小さいが、みんなで取り組めば形ができていくと思う。」等の声が出されました。

市と福祉ねつとが両輪となり、障がい者計画等を推進していくという初めて経験に、試行錯誤の連続ですが、みんなで協力しながら、“はつかいち”らしく進めていければと思います。



障がい別会議

身体障がい部会

11月、12月は、“障害者週間”ワーキングに参加し、障害者週間啓発活動イベント（会場：ゆめタウン廿日市）の企画・実施をワーキングの皆さんと一緒に行ないました。



1月の部会は、「JR大野浦駅周辺地区整備について」当事者のみなさんの意見が聞きたいということで、廿日市市施設整備課の方が参加されました。音声案内、点字ブロック、多機能トイレ等について活発な意見交換ができました。

知的障がい部会

部会では「障がいのある人が利用している理美容院情報・医療機関情報」を収集しています。

定例会で行った「理・美容院、医療機関を利用した時に、困った事、知りたい情報等」に関する情報交換では、「待つことが苦手。」「不安の軽減のため見通しがもてる手順（写真、絵カード等）を示してほしい。」「大きな声を出すので周りに迷惑をかけてしまうのではないかと心配。」「車から降りられないときどうしよう。」「訪問サービスや往診について知りたい。」等の声が出されました。

今後、独自に作成した情報収集用フォーマットを活用し、随時情報を集め、多くの方と共有できるようにしていきたいと思っています。

精神障がい部会

11月11日(水)、部会の交流事業として安佐動物公園に行ってきました。みなさんで行き場や役割分担などを決め、当日は総勢75名の方が参加されました。飼育員さんからアフリカスイギュウの説明を受け、飼育舎の見学も行うことができました。当事者の人たちと企画会議を行い、取り組んでいる交流事業を、今後も続けていきたいと思っています。



こども部会

1月20日(水)に学習会「障がい児者のきょうだいについて」を開催しました。講師としてお招きした“きょうだい支援の会 SIBLINGS 代表 三谷さん”からは、学習会前半で、ご自身の体験を交えながら、きょうだいを抱きやすい気持ちや家族ときょうだいの関係、きょうだい支援の取組等について分かりやすくお話していただきました。そして、後半はグループに分かれた座談会で、それぞれのご家庭の状況などを共有し、きょうだいへのフォローについて、みんなで考えることができました。

☆こども部会のブログをスタート☆

「団体に所属されていない個人ともつながりたい」ということで、こども部会のブログとLINE(ブログの更新情報)による各種研修、交流会等の情報発信をスタートしました。「kodomobukaiのブログ」で検索すると見ることができます!ぜひ、ご覧ください♪



課題別会議

特別支援学校進路ワーキング

12月25日(金)に第3回ワーキングを開催し、廿日市特別支援学校卒業生の進路の進捗状況や今後の流れ、課題等を共有することができました。今年度から開催回数が、年3回から年4回に増え、年度末にも1回開催予定です。ワーキングで情報共有できることで、各関係機関の調整もスムーズにできています。



余暇活動支援ワーキング

12月12日(土)には「障がい者スポーツ体験会」、1月23日(土)には「カローリング交流会」を開催しました。



2年目を迎えた両企画は、新しいワーキングメンバーを迎え入れたことにより、紙けん玉の取り入れや企業協賛のお願い、サンチェリー専用利用による利便性の向上 etc...と、さらにバージョンアップ!参加されたみなさんからは、「とても楽しかった。」「また、ぜひ参加したい。」等の感想をいただきました。

訪問介護事業所連絡会

10月20日(火)、11月9日(月)に救命救急の講習会を開催しました。心肺蘇生やAED使用方法、異物除去法などヘルパーが日頃の業務で活用できそうな救命方法を実際に体験しながら学ぶことができました。



1月15日(金)には、研修会「発達障害の心のケアーヘルパーや支援者がしていること、してはいけないこと」[講師：竹内吉和先生(竹内発達支援 Co.)]、1月31日(日)には、介護技術研修「リハビリテーションケアセミナー」[講師：香川寛さん(NPO法人リハケアリングネットワーク)]を開催しました。どちらも定員を超える参加者で、ヘルパーみなさんの向上意欲を感じる活力ある研修となりました。



防災プロジェクト

防災プロジェクトでは、初の試みとして、障がい別会議のみなさんと一緒にあいプラザの消防訓練に参加しました。2階会議室から出火したことを想定し、誘導係の指示に従い各部屋から避難しました。車いすの人などは、建物南側の避難スロープを利用し、1階まで避難しました。日頃から利用しているあいプラザで、みなさんと一緒にこのような体験ができとても良かったです。

参加された人からは、「参加できて良かった。」「次回は、(団体代表の人以外にも声をかけて)もっと、多くの人と訓練をしたい。」という声をいただきました。



相談支援部会



2月11日（木・祝）、森木聡人さん（広島県相談支援アドバイザー・障害福祉サービス事業所 Bee - Works 施設長）を講師にお招きし、「障がい福祉関係者基礎力アップ研修～広島県相談支援アドバイザー派遣事業～」を開催しました。

内容は、廿日市市内の相談支援専門員と障害福祉サービス提供事業所のサービス管理責任者、児童発達支援管理責任者が合同で、サービス等利用計画・障害児支援利用計画と個別支援計画の関係性やファシリテーションについて学ぶというもので、当日は、祝日にもかかわらず約40人の方にご参加いただきました。

参加者からは「日々の業務の振り返りを含め、明日からの仕事にすぐに生かせるエッセンスいっぱいの研修だった。」「それぞれの計画の関連がわかった。日々の情報共有や連携が大切だと実感した。」等の感想が寄せられました。



権利擁護ワーキング

平成28年4月1日より施行となる「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」の理解を目的に、3月2日（水）18:30～あいプラザ講座室にて広島大学大学院社会科学部 教授 横藤田誠先生を講師にお招きし、研修「障害者差別解消法がめざすもの」を開催します。みなさん、ふるってご参加ください。

“障害者週間” ワーキング

12月9日～11日の3日間、ゆめタウン廿日市にて障害者週間啓発活動イベントを開催しました。2階フロアスペースでは事業所の製品販売、白杖 SOS シグナルの啓発活動、手話教室を行い、



市民ホールでは事業所紹介のパネル展示、製品や作品展示、障害者権利条約の絵本のスライド上映、バルーンアート、缶バッチづくり体験コーナー、喫茶コーナーを設置しました。

「なっってください！サポーターに」のリーフレットをテナントの店長さんに配布し、啓発も行いました。

はじめての企画でしたが、障がい別会議、福祉就労ワーキング、ボランティアのみなさんなど、多くの方の協力で無事終わることができました。



～事業所リレーずいそう～ No.11

皆さんこんにちは。

PIECE 宮内キャリアサポートの石角です。

2年前の平成25年7月に、廿日市市宮内に開設された就労移行支援と就労継続支援B型の多機能型事業所です。現在は就労移行支援は休止中で、職員は私を含めて4名です。

基本理念は、『ひとつづくり、ものづくり、しあわせづくり』です。

事業所名の「PIECE」はピースと読みますが、平和のPEACEではなく、アニメの「ONE PIECE」と同じ「一片」の意味で、『誰もがそれぞれの大切な役割をになっているかけがえのない存在』と言う思いが込められています。当事業所は少人数の良さを生かし、お一人おひとりにきめ細やかな支援ができるよう日々訓練、活動にとりくんでいます。

設置主体は「株式会社オフィスクラタ」で、他に広島市、廿日市市に放課後等デイサービス4カ所と障害児相談支援事業所の事業があります。



企業や内職業者からの受注作業をしながら、一般就労へ向けての訓練を行っています。

主な作業は、箱作り、羽根束ね、ダンボール組み立て、広告折り、試供品貼りなどです。

中でも箱作りは、いろんな箱を数多く作らせていただきました。年末に、今年を漢字一文字で表すとすると…「箱」と言うほどに…。「箱」で始まり「箱」で終わる一年でした。



作業モットーは、「丁寧な作業、美しい仕上がり」で、たとえば“折る”と言う単純な作業の中にも方法はいくつもあり、どうすればきれいに効率よく仕上がるか、何を使えばいいのか、職員と利用者の方が一緒になって考え、工夫しています。新しいタイプの受注品をいただ

いた時には、皆のアイデアを結集した作業補助装置を作り、環境調整を行っています。

また自主製品として、マグネット付クリップ、ミニはたき、かざぐるま、箸袋などがあり、細かい作業をしたり、よりかわいいデザインやラッピングを考えて楽しんでいます。

その商品は、あいプラザの「コーヒーショップあんず」さん、地御前の「工房 ハクナマタタ」さん、「おおの福祉売店」さん、宮島の「はんどめいどの店 趣（おもむき）」さんで販売していただいております。

また、昨年からあいプラザまつりのバザーに参加させていただいています。今年もあいにくの雨でしたが、子ども用くじも置いてにぎやかに盛り上がりました。

今年の忘年会では、食事会を行い、そのあと卓球やウノなどのリクリエーションもしてみんなで楽しく過ごしました。

私たち指導員は、利用者の皆様に訓練を通して自信をもって就労に向けて行けるよう、支援をしております。どうぞこれからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



次回の事業所リレーずいそうNo.12は「ぱすてる」です！